

21年4月から新体制でスタート

安全で安心な地域社会の確立

久留米市消防本部と福岡県南広域消防組合消防本部は、平成21年4月に統合し、『久留米広域消防本部』となります。消防広域化3回シリーズの2回目となる今回は、広域化に伴う効果についてお知らせします。

◎消防広域化の必要性

消防は、地域に密着した防災機関として、様々な災害に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体及び財産を守るという責務を有しています。

これまでの、各々の消防本部で、この責務を果たすため、地域の実情に応じた消防体制の確立に努めてきました。

しかし、近年多発する大規模災害や、生活環境の変化に伴う複雑多岐にわたる住民ニーズに対応するためには、高度な資機材の導入や梯子車、高規格救急自動車等の高額な車両の維持整備、高度で専門的な知識・技術を有した消防職員の確保など、より一層の充実強化が求められています。が、地方の財政状況は一層深刻化し、一つの消防本部での整備には限界が生じています。久留米地域においても消防体制の充実を図るために、3市2町の自治体で構成する消防の広域化を行い、効率効果

的な消防体制の強化を図っていきます。

広域化による効果を最大限に活かして、消防体制を充実させ、安全で安心な地域社会の確立に努めていきます。

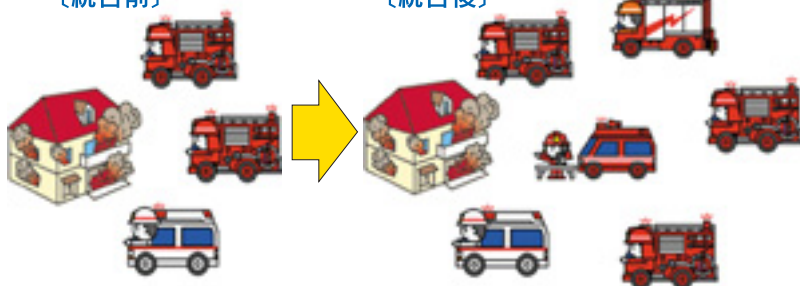
①住民サービスの向上

〈消防部隊運用の強化〉

久留米・三井・浮羽・三潴の4つの消防署からの初動出動隊数が増加するとともに、統一的な指揮のもと、災害の規模に応じて追加出動体制の運用が強化されます。また、同時に発生した他の災害に備えた補完体制の確保も可能となります。

〔統合前〕

〔統合後〕



出動体制の見直しにより、これまで管轄外であった隣接地域にも、直近の消防署や出張所から出動することが可能となり、地域によっては現場到着時間を短縮できます。

〈救急・予防業務等の高度化・専門化〉

組織の規模拡大により、救急救命士・予防技術資格の計画的な養成を行うことができ、これらの業務の高度化・専門化が図れます。また併せて、組織の活性化や職員の能力向上が図れます。



②人員配置の効率化と充実

〈署所体制の強化〉

本部の統合により得られる要員効果を現場へ投入することが可能となります。

〔統合前〕



〔統合後〕



③消防体制の基盤強化

〈高度な消防資機材、施設等の整備〉

財政規模の拡大により、特殊車両や、高機能な通信指令システムなどを計画的に整備することが可能となります。



問い合わせ先 福岡県南広域消防組合 消防本部
総務課 ☎43-8119